

うね日和

～12月号～



地域の出来事やイベント情報をおとどけ

家老コラム

農業は、種を繋ぎ、物語を繋ぐ

今年UNEでは、亀ノ尾、農林1号、コシヒカリ、コシヒカリBL、もち米の大正糯（もち）の5種類の品種を作付しました。因みに昨年は農林22号も作付しました。

- 亀ノ尾：農林1号の祖父、当初市内の農家に種籾をお願いしましたが、特別な品種ということで願い叶わず、UNEを訪問した茨城県の友人から分けてもらい5年前に作付を始めました。
- 農林1号：コシヒカリの父、4年前に長岡市長倉にある新潟県農業総合研究所からどぶろくを作るという目的で盃1杯の種籾を貰い、毎年増やし続け今年約1反作付しましたが、猪の被害に遭い収量は100kgでしかありませんでした。
- 農林22号：コシヒカリの母、種籾はネットで見つけ兵庫県の農家から取り寄せ3年前に作付しました。
- コシヒカリ：耐イモチ病の性質を持つコシヒカリBLが県内デビューして以来、県が推奨し、またJAが取り扱うのがBLしかないの、コシヒカリの作付はどんどん減っていますが、うまい米の産地である一之貝で作付している農家はUNEを含めまだあります。

UNEはこのように「コシヒカリ一族」を「どぶろく雪中壺乃界」の原料米にすることを目的に栽培し、間もなく待望のどぶろく「ヒカリ三代：亀ノ尾、農林1号、コシヒカリ」が仕上がります。是非、ご賞味ください！

◎大正糯：5年前に私の地元、種籾の産地として有名な長岡市栖吉地区野崎の永井さん（当時86才）からほ場整備で3年間耕作出来なくなるので大正糯を作り継いで欲しいとのことで2kgの種籾を分けて貰い現在に至っています。のびのあるうんめ～餅です。

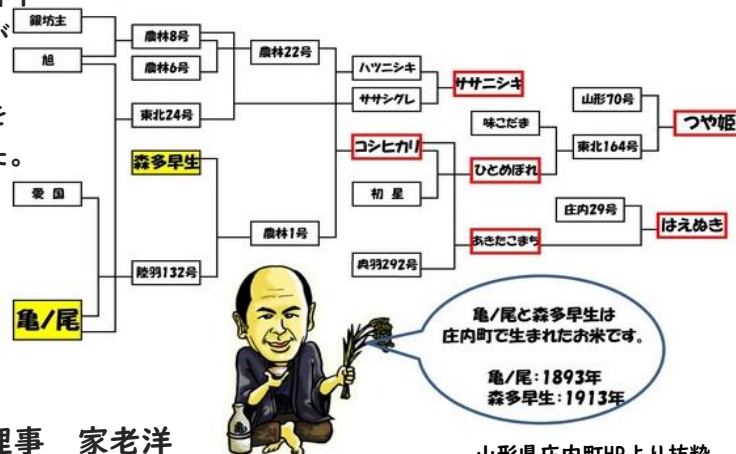
現在、機械化、効率化が図られ多品種、少量の米作りは出来なくなりましたが、一之貝生産組合や地元農家、そして長岡の米作り名人の岩村さんらの指導、応援をいただき、また職員の努力の甲斐もあり6種類もの品種を作付出来ることに感謝しています。

私は、ヨーロッパで8年間農業を学び「条件不利地域で平場と同じ様なものを作っても限界がある。何か特徴のあるものをつくらなければ勝負できない！」というスイスの農家の言葉を思い出し、これらの米作りに取り組んで来ました。

一之貝には長岡よりも長い歴史と伝統、先人から受け継いだ物語があります。UNEもこの物語を次世代に繋ぐべく2020年の今、しっかり活動したいと思います。

農業は正に種を繋ぐ、文化を繋ぐ大切な営みであると実感する今日この頃です。

亀ノ尾をルーツとするお米の系譜



代表理事 家老洋

山形県庄内町HPより抜粋

イベント情報



お申込み、お問い合わせはウネまでお電話（平日9時～16時、0258-86-8121）か、メール（une_aze@yahoo.co.jp）FAX（0258-86-8131）でおねがいします。

農福連携についてのフォーラムを開催します。

農福連携の推進がマスコミなどに取り上げられるようになりました。これまでは先進事例、優良事例の紹介が中心でしたが、UNEでは今年度より農家と障害者福祉サービス事業所の間に立って、障がい者の農作業がスムーズに進められる人材「農福連携サポーター」を育成する講座をこの9月に開催しました。この度、農福連携の現状と、農福連携サポーター育成、そして農福連携運動のこれからをテーマでフォーラムを開催します。

講師並びに詳細については、1月のうね日和でお知らせします。

- 日 時：2021年2月9日(火) 13:30～17:00（受付13:00～）
- 場 所：長岡市アオーレ長岡 西棟3階 B・Cホール(長岡市大手通1丁目4-10)
- 内 容：先進事例の発表
現場実習と支援事業報告
ワークショップ「農福連携運動の課題とこれからのについて」
- 対 象 者：農福連携に興味のある方（福祉・行政・農業関係者）、関係者
- 参加定員：80名 定員になり次第締め切らせて頂きます。
- 申 込 み：1月20日までに電話(平日9時から16時)、HPのイベントページから
- 参 加 費：無料
- ・開催についてはコロナウイルス感染拡大防止に努めます。受付の際にお名前、ご住所の記入、検温をさせていただきます。
- ・当日はマスク着用、アルコール消毒の実施をお願いいたします。

極上大正もちの販売を始めます！

今年も師走を迎えました。UNEの冬の風物詩「極上 大正もち」の販売を開始しました。認定農業者UNEが一年かけてじっくり、丁寧に育てた大正もち米を一白一白丁寧に仕上げた餅は伸びが良く、柔らかさが持続し、固くなりにくいのが特長です。数量限定で毎年売り切れになる人気の商品ですので、ご用命はお早めに！
お買い求めはUNEHAUSにお越しになるか、UNEのホームページでも注文頂けます。



- 極上 大正もち価格○
10切460g入り 1袋1,026円（税込み）
- 数量限定・お買い得品 700g極上大正もち はじ餅 1袋500円
- ※ただし、はじ餅はUNEHAUSのみでの販売となります。

特定非営利活動法人UNEとUNEHAUSは

12月26日から2021年1月3日までお休みとなります。新年は4日から開所となります。

先月の活動報告

ヒカリ三代試食会を開催しました。

手塩に掛けてUNEで育てたコシヒカリの祖父 亀ノ尾、コシヒカリの父 農林1号、コシヒカリ(2種類)そしてコシヒカリBLの4品種の試食会をJA、市役所、レストランのシェフ、生産者、そして一般消費者の方々16名から試食し評価してもらいました。

JA越後ながおかの星先生からコシヒカリの経歴と今回試食する品種の特性を講義していただいたからの試食会開始となりました。

紙皿に盛り付けた5つの「半おにぎり」をそれぞれ食べ比べ「見た目」「味」そして「総合」の3つのポイントで5段階で評価をして貰い、参加者全員の採点を合計し一番点数の高かったものから順位を付けました。結果は、僅差でしたが、コシヒカリBLが他を押さえて1位となりました。

併せて、5種類の品種を当てて貰うこともしました。前回2月の試食会では誰も当たらなかったのですが、今回はJA越後ながおか栃尾営農センターの河内さんが見事5種類全て当て、ささやかですがUNEの特製クロモジボールペンを賞品として差し上げました。

「充実した試食会、毎年開催して!」との要望も寄せられ、来年も頑張って開催したいと思います。

農福連携の先進地視察に行ってきました。

11月17,18日の2日間、農福連携ジョブトレーナー養成講座の受講生と一緒に長野県の長野セルブに先進地視察に行ってきました。長野県は農福連携において先進的な活動を行っており、非常に有意義な視察となりました。組織的にも窓口を一本化したりJAと協働したりする中で、福祉施設の施設外就労と農業者の労働力不足を上手くマッチングさせる取り組みを行っている事が参考になりました。

また、長野県知事が先頭になって県全体で農福連携に取り組む動きの中で行政支援の農業就労チャレンジ事業を設定、農家と障がい者施設との間に立つ農業就労サポーターの給料を1事業当り50時間(時給1,000円)の補助を実施している点などは、現場と行政が一緒になって進めている運動だと感じ、是非新潟県ならびに長岡市も同様の取り組みを行ってほしいと切に思いました。

先進的な事例紹介も沢山伺い今後の展開の参考にしたいと思います。

J-COIN様から助成して頂き、新しい送迎車両が導入されました!

みずほフィナンシャルグループ、J-Coin加盟銀行、賛同する企業・団体、そしてJ-Coin Payのユーザーの方々からの助成事業で新しい送迎車両トヨタ「ノア」を導入しました。ブレーキサポートやはみだし防止装置、ドライブレコーダー等の安全装備も充実した車両で、名前を「ノア」から「HAKOBUNE(運ぶーね)号」と名付けました。皆様から喜んで頂いている送迎事業でも活用し、今まで以上に安心してご利用いただけるようになるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



今月の送迎サービス予定

 **買い物送迎サービス<原信・コメリ等>12月10日、24日(木)**

 **温泉送迎サービス<おいらこの湯>12月8日(火)**

13:10 軽井沢集落開発センター→13:15 ウネハウス→13:20 荷頃地区センター
帰還は15:30頃です。

 **病院送迎サービス:希望時間に送迎します。(8:00~16:00)**



無料でGO!

◇ご利用希望の方は前日までにウネにご連絡、ご予約ください。
◇病院送迎はサービス会員対象となり、会員は随時募集しています。
どうぞお気軽に問い合わせ下さい。